

令和 4 年 5 月 30 日

## 2022 年度 学校関係者評価委員会 議事録

### 【目的】

自己点検・自己評価の結果や意見やご提案を頂き、学校改善・改革に繋げる

### 【日時・場所】

令和 4 年 5 月 30 日(月) 10:00~11:30 (実時間)

福岡ベルエポック美容専門学校 4 階 401 教室

### 【学校関係者評価委員】

高校関係者 山本 美加 様 (宇美商業高等学校 校長)  
業界関係者 松田 秀則 様 (Daisy 代表)  
矢田 綾香 様 (一般社団法人 日本化粧品検定協会 顧問)  
地域関係者 春山 大輔 様 (大浜自治協議会 大浜祭り委員会委員長)  
保護者代表 橋本 寛子 様 (ヘアメイク科 1 年生保護者)  
卒業生代表 溝上 真 様 (美容師科卒業生)

### 【本校委員】

学校長	田中 浩一
事務局長	佐藤 誠
教務部長	望月 健司
美容師科学科長	加藤 真也
トータルビューティ科	
ビューティ WEB デザイナー科学科長	水谷 将也 (議事録)
トータルビューティ科学科長代理	古閑 亮一 (授業のため欠席)
ヘアメイク科学科長	岩永 宙也 (授業のため欠席)
ブライダルコーディネーター科学科長	柴田 薫 (授業のため欠席)
広報センター長	成本 佳樹
キャリアセンター長	川畑 誠

## 【議事内容】 進行：望月

### ■開会のあいさつ：学校長 田中 浩一

お忙しいところご出席いただきありがとうございます。どうか忌憚なきご意見をよろしくお願いいたします。昨年はコロナ対策の話が主でしたが、少しずつ終息の気配が感じられます。日経新聞で、高卒の就職中間報告を見ていたが、過去2番目に高い内定率だった。一方では、経済不安から専門学校への進学も増えているというデータもある。そういった学生の期待にこたえないといけないと思っている。今年4月から高等課程（3年制）を開設している。またICT化の流れを受けて、WEBを取り入れたビューティ WEB デザイナー科を新設した。時代の変化に対応した学校運営をしていきたいと思っています。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### ■委員会メンバー自己紹介

※学校関係者評価委員参照

### ■委員会の目的：事務局長 佐藤誠

※学校関係者評価委員会 会議資料、Keynote 参照

自己点検・評価は文部科学省からの言われている我々の義務である。

職業実践専門課程とは・・・

各学校が自らの教育活動等の成果や取り組みを不断に検証することにより

1. 各学校が、自らの教育活動そのほかの**学校運営について、組織的・継続的な改善を図る。**
2. 学校評価の実施・結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに、**保護者・地域住民等から理解と参画を得て、その連携協力による学校づくりを進めること**
3. 設置者が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、**教育水準の保証・向上を図ること。**

評価の実施方法は・・・

1. 各学校の教職員が行う評価 **【自己評価】**
2. 保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価 **【学校関係者評価】**
3. 学校と直接関係を有しない専門家等による  
客観的な評価 **【第三者評価】**

外部の人に見ていただき、ズレがあれば正していくという会議になります。この活動をすることによって職業実践専門課程と認定される。

職業実践専門課程（文部科学省告示第133号平成25年8月30日）

目的：職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定・・・

全国的に6,7割の学校しか認定されていません。なぜかという、運営状況や財務状況な

ど情報公開しないといけないので認定されていない学校もある。

認定（抜粋）：

- 専攻分野に関する企業・団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っている。
- 企業と連携して、実習、実技、実験または演習の授業を行っている。
- 企業と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っている。
- 評価を行い、その結果を公表している。
- 評価にあたっては、関係者として企業の役員または、職員を参画させている。
- 企業に対し教育活動や学校運営の状況に関する情報を提供している。

今日その1つとして皆様には意見をうかがって、事業計画を修正させていただいて1年間運営していくという形となります。

■2021年度自己評価について：事務局長 佐藤誠

※学校関係者評価委員会 会議資料、Keynote 参照

〈5か年の重点目標、達成状況〉

5ヶ年（2017年～2021年）の重点目標

No.1の学校となる を実現させるために

- 中途退学率0を目指す
  - 専門職就職率95%以上を毎年継続する
  - 卒業後1年以内専門職離職率0を目指す
- を重点目標として取り組んだ

2019年は

上記目標以外に入学生確保を最重要事項として取り組んだ。

〈2021年単年度の達成状況、重点ポイント〉

2021年までの5ヶ年の目標

- 中途退学率0の達成

2021年度実績

(7.3%) 472名中 35名の中途退学者

- 専門職就職率95%以上を毎年継続する

【2021年度 専門職就職状況 (100%)】

※就職希望者全員就職決定率96.6%（就職希望者175名）卒業生169名 ※5月全員内定

- 卒業後1年以内専門職離職率0を目指す

【2021年度 離職率 (14%)】

※離職率・・・2020年3月卒業の1年以内の離職状況

【入学者数】

242名入学（昨年238名）

就職内定率については、卒業までに100%を目指したが若干数未内定がいた。我々としては、卒業したら終わりではなく卒業後もサポートをして5月までに全員職に就くことができました。

離職率については、10数年前は50%あった。平均は3割ぐらいと言われている。美容はそれよりも高い。学生と企業とのマッチングを向上させている。

#### 2021年度重点目標

- ① 就職希望者全員内定
- ② 福岡ベルの強みである「現場力教育」の企業コラボの数を増やす(内容にもこだわる)
- ③ ICT教育推進

- ① 就職希望者全員内定

就職希望者175名中

169名内定(内定率96.6%)

昨年度内定率84.3%

(対昨年度比12.3ポイントアップ)

②はコロナ禍ではあったが、2021年度、156件実施した。学生への感染対策指導とコラボ先との感染対策を共有しながら案件を実施できている。

③コロナ禍であるが、文科省のGIGAスクール構想を受けてICT教育を本校では推進している。昨年は、ZOOMとModleを活用していたが、2021年度はTeamsに変更にした、年度当初にオンライン授業と登校授業のハイブリット教育の年間計画を立てて行った。オンライン授業に課題(画質や実技授業では対面がいいという不満)があった。しかし、講師によっては工夫して行って実技でも授業満足度を高めている先生はいる。年度途中でオンラインオープン授業を実施し成功事例の水平展開を行っている。今後学園のスケールメリットを生かして、推進していきたい。

#### 〈2021 重点項目 自己評価大項目について〉

さっそく評価に移りたいと思います。10項目ありますので、順に説明していきますので学校の評価に対する皆様の評価を記入していただければと思います。

1 評価について。毎年、事業計画(5年先と単年度の計画)を立て育成人材像と組織運営を明文化している。

2 学校運営について。全国に84校の専門学校を中心としている滋慶学園グループの一員でスケールメリットを生かし学校運営を行っている。学園グループなので財務基盤は安定している。病院など学生の学ぶ環境を確保している。

3 教育活動について。学生便覧(学生)、教育指導要領(教職員)において目標、単位認定、成績等に関して明文化している。評価方法などもすべて記載してある。また滋慶教育科学研究所での研修や勉強会に参加し教育の質の向上を行っている。

4 学習成果について。就職、資格取得、卒後フォローにも力を入れています。学校単位でも行っているが、学園としても横のつながりを生かし就職、資格取得の向上（合格率、質）を行っている。

#### **国家試験対策センター**

#### **キャリアセンター（美容4校合同）**

#### **離職調査（毎年実施）**

就職について、評価を低くしたのは、卒業までに全員内定できなかった、美容師国家試験については今年全員合格ではなかったため、4を付けている。しかしながら不合格者も合格するまでサポートを行っています。

5 学生支援について。低くした理由については、全員就職ができなかった、退学が出ている、保護者との連携が遅いというご指摘も受けているため。ただ、学生サポートについては、職員がカウンセリング研修を受けて、カウンセリングや進路のアドバイスができるようグループスケールを使って整えている。下記のように学生のサポート体制を充実させている。

#### **スクールカウンセラー（学生、保護者、担任）**

#### **慶生会クリニック（内科、歯科）**

#### **キャリアセンター（就職、求人、産学連携）**

#### **研修（カウンセリング、進路アドバイザー）**

#### **フィナンシャルアドバイザー**

6 教育環境について。設備に関しては、計画的に事業計画を作成しているので、適した教室を設定している。防災管理については、避難訓練等を行っているが、いざというときにすべての教職員が行動できるかという所は言い切れないので、4にしている。

田中学校長）本校の学生は学外実習に期待して入ってきているので、コロナで少なくともはなっているが、今後も積極的に外部実習を充実させていきたいと思っている。

春山様）防災訓練はどの程度のペースで実施しているのか？

佐藤局長）年に1回実施となっています。

春山様）地域でも防災を意識している。私どもとしても地域と一緒に防災、防犯訓練をやっていたらと思う。

7 学生の募集と受け入れについて。募集要項で選考方法、学費、アドミッションポリシーを明示している。ルールを順守と行政、学園と相談しながら行っている。専修学校協会、行政などと相談しながらルールを順守している。お金に関しては、フィナンシャルアドバイザーの講習を受けた職員もいるため、奨学金のサポートなどに生かしている。

8 財務について。HPに出ています情報公開もしている。事業計画に当該年度と5か年の予算を組んでいる。学園本部、理事会・評議会からチェックを受けて運営している。

田中学校長）私立大学の学費問題など社会問題になっているが、学園全体としてチェックを受けた上で適宜運用している。

9 法令の遵守について。法令順守は学園本部が中心となって行っている。外部による監査

実施。行政への報告、個人情報保護にかんしても学園と連携して行ことで複数の目でチェックしている。情報公開も行っている。複数の目からチェックを行っているので、この部分について我々は自信をもって5をつけさせていただいている。

10 社会環境・地域貢献について。4点の理由は、コロナの影響で大浜祭りや博多学園との貢献ができなかったため。我々としては積極的に取り組んでいきたいと思っている。田中校長) 就職する高校生に身だしなみの指導をうちの学生がして喜んでいただいている。学生からしたら、自分が学んだ事を提供し経験ができるので、また地域貢献できるように期待したい。

佐藤局長) HP に情報公開というサイトがある。ここを見ていただくとどのような運営をしているかわかりますので、後日ご覧いただけたらと思います。先ほどあった情報公開はこの部分を指しています。

#### 委員から一言

橋本様) 初めて参加させていただいて、娘がメイクに興味を持ち始めて、自分も興味を持つようにした。最初オープンキャンパスに来て、実習が多いということ、他の専門学校にはないメイクがベルではできると娘から言われた。実際娘は高校の時とは比べられないぐらい、生き生きしている。これから先は色々学んでいってほしいと思っているので、こういう場を設けていただいて感謝している。

溝上様) 卒業生なので、在学・社会人の経験から学校側に協力できるのでは?と思っていますし、自分自身が成長して行くために今後お力添えできればと思っています。今回とても勉強になった。

松田様) 話を聞いて、取り組んでいることなど学園が大きいからこそ取り組めることがあるなと思った。大きい学園だからこそ、他校との競争の中では時代の流れが速いので、5年の計画も1~2年の速いスピードで計画の見直しをしないといけない時代だと思う。教育も新しいものやっていくということが大事。美容師免許も本当に必要なのか?という所も変えていかないと、業界自体は変わっていかないので、そのようなことも大事だと思った。

春山様) 資料を見させていただいて、感心した。これだけ立派なものが作成してあることが素晴らしい。たくさんの学生さんによって地域が非常に良くなった。大浜地区としては長いスパンで大きな地域開発ができてくる。この先10年でかなり変化する。そんな中で若い人の文化が活かされれば、さらに活気づくので、タッグを組んで共に共生していきたい。

望月) 喫煙問題で迷惑かけている。コロナのオンライン授業で人間教育が弱くなっているかもしれない。

山本様) 組織が大きいとつよみが非常にあるなと思った。学校内では一人一人サポートを、大きい組織でありながら、こまめにサポートをしているから、この評価につながっているのかなと感じた。コロナ禍でなかなかできない人と接する部分を新たな取り組みで広がって

いくのかなと感じる。

矢田様) さすがだなと感じた。卒業生の支援体制という部分はどこの学校さんも苦慮している。生涯支援システムが浸透するとさらに良くなると思う。ICT教育がベルの強みになるとさらに広がっていくのかなと思う。

■2022年度の重点目標ポイント：事務局長 佐藤誠

※Keynote 参照。

今後の課題（継続）2022年

- 1 年度内全員内定
- 2 専門課程の入学者確保
- 3 教育の質向上

■閉会のあいさつ：田中 浩一

本日は貴重なご意見をありがとうございました。私は朝倉という所から来ている。資生堂が田主丸に最先端の工場を作った。地元採用が増えた。アジアに一番近いから作ったそう。これから美容業界もっとグローバルになっていくので、関連する人材を専門学校でどんどん輩出していきたいと思っている。